

令和7年度 学校関係者評価報告書

学校法人 本田学園
アルファジャパン美容専門学校
学校関係者委員会

学校関係者評価委員

- ・ 本山 隆幸 業界関係者
- ・ 西山 博資 保護者（卒業生）
- ・ 馬場 博之 卒業生
- ・ 中川 佳典 教育に関する有識者
- ・ 本田 宗一郎 アルファジャパン美容専門学校 校長

学校関係者評価委員会 開催日時
令和8年3月17日 10時～12時

学校自己評価報告書（令和7年度春）の結果に基づいて、
学校関係者評価を実施したので、下記のとおり報告します。

※採点基準：適切=4・ほぼ適切=3・やや不適切=2・不適切=1

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価	教員意見記入欄
項目1 教育理念・目的・目標	1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしている。	4	明確に定めている
項目2 教育課程、教育の実施、学修成果	1 教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置している。	4	教育課程を編成できている
	2 教育の実施	授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っている。	3	成績評価基準に基づき公正な成績評価を引き続き行っていく
		企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という)の授業を行っている。 教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定している。【注】職業実践専門課程】	4	企業等と連携した授業が行えている
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしている。	4	方針に沿った卒業認定を行えている
	4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。)についての目標を定め、その目標が達成できている。	3	コースごとの資格取得については大半ができています
学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。		4	学生が自主的に動き、目標を達成している	

学校関係者課題等ご意見

項目1 引き続き周知していくように	項目2 資格取得を全コースさせるようしっかりと教育していくように
----------------------	-------------------------------------

※採点基準：適切=4・ほぼ適切=3・やや不適切=2・不適切=1

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価	教員意見記入欄
項目3 学生の受入れ学生支援	1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定している。	4	公正に行い、合否を決めている
	2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいる。 学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っている。	3	入学前に登校を設けているが、よりよい内容の改善を視野に入れてもよい。
	3 多様な学生に対する支援	適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っている。	4	多様な学生に対する支援を行えている。
	4 学生生活に関する支援	カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営している。	3	クラス担任制を設けているため、学生相談は行えている
		留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っている。	4	適切に対応を行えている
		学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用している。	4	適切に運用している
		学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用している。	4	適切に周知、運用している
		学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用している。	4	適切に周知、運用している

学校関係者課題等ご意見

項目3

今後は多種多様な学生の受け入れ、支援が必要になってくるため、支援体制をより整えていくように

※採点基準：適切=4・ほぼ適切=3・やや不適切=2・不適切=1

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価	教員意見記入欄	
項目4 教育実施組織・教員	1 教員の配置、募集、採用	教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用している。	4	適正に運用している	
		教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握している。また、教員の専門性、教授力を把握、評価している。	4	把握、評価している	
	2 教員の組織編制等	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めている。	3	業務分担はできている	
		教員間で連携、協力体制を構築している。	3	協力体制は構築されている	
	3 教員の資質の向上	学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っている。	3	支援を行っている	
		特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っている。【注】職業実践専門課程】	3	組織的に行えている	
		教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っている。【注】職業実践専門課程】	3	組織的に行えている	
	項目5 教育環境	1 教育環境の整備	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えている。	3	備えている
			学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備している。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保している。	4	確保できている
図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしている。			4	できている	
2 安全対策、防災組織		学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っている。	4	適切に行っている	
		火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営している。	4	適切に運用している	

学校関係者課題等ご意見

項目4 後援会など企業等と連携した研修をもっと増やしてはどうか	項目5 引き続き行うように
------------------------------------	------------------

※採点基準：適切=4・ほぼ適切=3・やや不適切=2・不適切=1

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価	教員意見記入欄
項目5 教育環境	3 施設・設備等の点検、改善等	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っている。	4	適切に行えている
		施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施している。	4	適切に実施している
項目6 教育活動の基盤と改善・ 向上の取組	1 中期事業計画と財務基盤	当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられている。	4	位置付けられている
		当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立している。	4	確立している
	2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われている。 (職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)	4	適切な運営が行えている
	3 学校評価の実施と改善活動	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	4	活用できている
		特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催している。【注】職業実践専門課程】	4	できている
		学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表している。	4	公表している
		学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っている。	4	行えている
	4 社会からの理解と情報の公表	当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表している。	4	公表している
		教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取り組んでいる。	4	取り組んでいる

学校関係者課題等ご意見

項目5 適切に行っていくように	項目6 財務基盤を確立できているため、引き続き適切に運営していくように
--------------------	--